

第 2 期八戸市次世代育成支援行動計画後期計画 令和 3 年度実施状況に関する
質問・意見に対する回答

事業番号 19 事業・取組名 小・中ジョイントスクール推進事業	
質問	・自己評価が“b”となっている。どのような状況（数値等）になれば、“a”と評価できるのか教えていただきたい。
回答	<p>担当課：教育指導課</p> <p>本事業の趣旨は、各中学校区の小学校と中学校が連携し、家庭・地域社会とともに、義務教育 9 年間の子どもの学びと成長の連続性を図り、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」を育む質の高い教育（授業）を保証することである。</p> <p>例年、児童生徒の課題に基づいた重点指導項目を設定して共通して取り組んだり、教職員、児童生徒の交流を中心とした取組を行ったりしている。</p> <p>しかし、ここ数年は新型コロナウイルス感染拡大により活動が制限され、令和 3 年度も予定されていた交流等が中止になったことから、昨年度に引き続き、自己評価 b という結果となった。</p> <p>各中学校区では、学校紹介 DVD の小学校への配布、中学校教員が小学校を訪問しての講話等、コロナ禍でも実施可能な取組が見られるようになっている。今後、そのような取組が全ての中学校区で確実に実施できるようになり、本事業のねらいが十分に達成された場合に、自己評価 a とする見込みである。</p>